



にぎわい東北

— つなげよう、ふるさとのチカラ

AEON

2017年3月9日

イオン株式会社

くらしに身近なお買物を通じて、岩手・宮城・福島県の子どもたちを支援します **3/9(木)~11(土)、東北応援「イオン 幸せの黄色いレシートキャンペーン」実施** 九州地区の店舗では東北に加え熊本県を支援します

2011年3月に発生した東日本大震災からまもなく6年をむかえます。イオンは本年も3月9日(木)~11日(土)、全国のグループ各社約2,100店舗において、東北応援「イオン 幸せの黄色いレシートキャンペーン」を実施します。

また九州地区の約340店舗では、昨年4月に発生した平成28年熊本地震で被災された方々への応援として、支援先に熊本県を加え、東北・熊本応援「イオン 幸せの黄色いレシートキャンペーン」を実施します。

イオンは2001年より、毎月11日の「イオン・デー」に、「イオン 幸せの黄色いレシートキャンペーン」を実施しています。お客さまに、応援したいと思うボランティア団体のボックスにレシートを投函していただき、そのレシート合計金額の1%相当の品物をイオンからボランティア団体に寄付するものです。2015年度までにのべ約24万2,600団体へ総額約27億8,421万円相当の品物を贈っています。

2012年度からは、東北復興支援活動の一環として3月のキャンペーン期間を3日間に拡大し、岩手県・宮城県・福島県の子どもたちを応援する活動に寄付しています。期間中、お客さまから専用ボックスに投函いただいたレシート合計金額の1%を、被災した子どもたちの「くらし」と「学び」を応援する3県の育英基金にイオンが寄付しています。2016年度は、3県の子ども育英基金に総額約9,995万円を贈りました。2016年度までに同キャンペーンを通じて被災地に贈られた累計寄付金額は、約7億2,600万円にのびります。



2016年の実施の様子

イオンは全国の皆さまと手をたずさえ、くらしに身近な小売業ならではの取り組みなどを通じて、東北の創生に向けてともに歩んでまいります。

■東北応援「イオン 幸せの黄色いレシートキャンペーン」

期 間：2017年3月9日(木)~11日(土)

実施店舗：全国約2,100カ所のグループ店舗

イオンリテール(株)、イオン北海道(株)、イオン九州(株)、イオン琉球(株)、(株)サンデー、(株)ダイエー、(株)ボンベルタ、イオンスーパーセンター(株)、イオンビッグ(株)、MV北海道(株)、MV東北(株)、MV東海(株)、MV中部(株)、MV西日本(株)、MV九州(株)、(株)クリエイト、(株)光洋、MV南東北(株)、MV関東(株)、MV長野(株)、MV北陸(株)、(株)マルナカ、(株)山陽マルナカ、イオンマーケット(株)、(株)レッドキャベツ、イオンモール(株)とイオンタウン(株)の各社専門店など(一部店舗を除く)

※MVはマックスバリュの略称

寄付先：岩手県「いわての学び希望基金」

宮城県「東日本大震災みやぎこども育英募金」

福島県「東日本大震災ふくしまこども寄附金」

備 考：グループ約2,100店舗のうち九州地区の約340店舗については、東北・熊本支援「イオン幸せの黄色いレシートキャンペーン」を実施します。岩手、宮城、福島
の東北3県と熊本県の皆さまの支援に活用されます。



【ご参考】 全国の皆さまとともに行う、イオンの東北創生に向けた取り組みの一例

■「東北復興支援WAON」を通じて子どもたちを支援

2012年5月、ご利用金額の一部をイオンが拠出し、岩手・宮城・福島3県の被災された子どもたちの「くらし」と「学び」を応援する育英基金に寄付する電子マネーカード「東北復興支援WAON」を発行しました。2016年度までに、計1,978万2,027円（岩手県602万1,614円、宮城県666万1,166円、福島県709万9,247円）を寄付しています。



■イオンファンタジー「ファンタジースマイルデー あそんで募金」

ファミリー向けアミューズメント施設を運営する株式会社イオンファンタジーは、毎月11日に、「ファンタジースマイルデー あそんで募金」を実施しています。これは、施設にある対象ゲーム機で遊んでいたいただいた売上の10%相当金額を同社が寄付し、東日本大震災支援活動、子ども支援活動、環境保全活動に役立てていただくものです。毎月3月は3日間に拡大し、岩手県・宮城県・福島県の子ども育英基金を通じて、東日本大震災の復興を支援しており、2012年より毎年継続して取り組んでいます。本年も3月9日（木）～11日（土）に実施します。



■ミニストップ ソフトクリーム販売を通じた支援

ミニストップ株式会社は本年3月9日（木）～3月11日（土）の3日間、「東北応援 ソフトクリームで子どもたちを元気に！」キャンペーンを実施します。期間中、全国のミニストップでご購入いただいたソフトクリームの売上のうち1%を岩手県・宮城県・福島県の子ども育英基金に寄付し、被災された子どもたちの生活や就学支援にお役立ていただけます。



また同社は1991年より、お客さまからの募金と、土曜日のソフトクリームの売上の1%をもとに、ご応募いただいた小学校へ花の苗をお届けする「花の輪運動」を行っています。2011年以降、東日本大震災で甚大な被害にあわれた地域への支援として、岩手県・宮城県・福島県の小学校に優先的にお届けしています。本年27年目を迎えるこの活動を通じて、これまで累計でのべ1万4129校、364万株の花が小学校の花壇を彩っています。

■東北の働く障がい者を支援「障がい者ものづくり応援募金」

公益財団法人イオンワンパーセントクラブは2月11日（土）～3月12日（日）の期間、障がい者就労支援事業所で働く方々を応援する「障がい者ものづくり応援募金」を実施しています。「認定NPO法人 難民を助ける会」のご協力のもと、これまでに1億5,000万円を超える寄附金が、岩手県、宮城県、福島県の事業所のべ107カ所における生産活動の支援に活用されています。5回目となる本年も、「認定NPO法人 難民を助ける会」を通じて、生産効率を上げる機器の提供や新しい商品づくり、販売会の支援など、障がい者の方々のさらなる自立と社会参加につながる取り組みに役立てられます。



地域の皆さまとイオンの労使で行う、イオンの東北創生に向けた取り組みの一例

■交流を通じて地域課題に取り組む「イオン 未来共創プログラム」

東日本大震災から5年目を経た2016年3月、イオンは「にぎわい東北 - つなげよう、ふるさとのチカラ」を新たなテーマに据え、「復興支援」のステージから「地域（ふるさと）の創生」へと次の一步を踏み出すことを決意し、地域創生に向けてさまざまな取り組みを行っています。

その一環として2016年5月、グループの労使からなる「イオン 心をつなぐプロジェクト」(※)は、東北被災地における社会的課題の一つが「持続可能な地域共同体の再生」であると考え、地域交流型の支援活動を通じて持続可能なコミュニティの再生を目指す「イオン 未来共創プログラム」をスタートしました。岩手・宮城・福島 の3県6地域で活動を行っており、これまで全国のグループ企業の労使45組織のべ136名が実際に地域を訪れ、地元の方々と交流し地域課題についてともに考え、事業を通じた地域創生に取り組んでいます。

同プログラムを通じ成果につながった事例として、岩手県遠野市や宮城県丸森町において、イオンスーパーセンター(株)の店舗を活用し地元産品の販路拡大を行いました。人手不足や風評被害の影響を受けていた丸森町特産の干し柿「ころ柿」や、福島県飯舘村の特産品でありながら全村避難により地元での栽培ができず、種の保存のために遠野市米通地区で栽培されていた「いいたて雪っ娘かぼちゃ」などを販売し、生産者の方々やお客さまからご好評や感謝の声をいただきました。また岩手県遠野市の豊かな自然を活かす取り組みとして、スポーツ用品店を運営する(株)メガスポーツがスノートレッキングツアーを企画しており、実現に向けたトライアルがスタートしています。

今後も地域の皆さまと手をたずさえ、持続可能な地域コミュニティの再生を目指し、東北の創生に向けてともに歩んでまいります。



「ころ柿」の皮むき



「いいたて雪っ娘かぼちゃ」の収穫



スノートレッキングツアーのトライアル

(※)「イオン 心をつなぐプロジェクト」

労使一体となって被災地での植樹やボランティア活動に取り組む「イオン 心をつなぐプロジェクト」は震災から1年後の2012年3月に立ち上げ、2021年までの10年間にわたりのべ30万人の従業員のボランティア活動、東北沿岸部への合計30万本の植樹活動を実施することを発表しました。5年目となる本年1月度末までに、被災地や全国各地で226,942人の従業員がボランティア活動に参加し、202,682本の植樹を行っています。